



違いを大切にする

校長 田平 奈保美

ディズニー・アニメーションの名作の一つである「ダンボ」。
小さい頃、絵本で何度も読み返したという方も多いのではないのでしょうか。
東京ディズニーランドのアトラクションにもありますね。
サーカスの象ジャンボが生んだ小象の名前は「ダンボ」。ダンボは象の赤ちゃんです。ただ通常の象と違うところがありました。それは耳がとても大きかったのです。

通常と違う姿のダンボは、人間の子どものにからかわれたり、嫌がらせをされたりといじめられます。しかし、ネズミのティモシーだけは違いました。ダンボを優しく励まし、意地悪な象たちにも立ち向かってくれました。そして、その通常とは違う「大きな耳」は、空を飛べるという素晴らしい能力につながり、ダンボは空飛ぶ象としてサーカスの大スターになるというお話です。

この「ダンボ」の話から、子どもたちに考えさせたい2つのことがあります。
1つ目は、ダンボをからかっていじめる人間の子どもの仲間外れにする象。それに対してダンボをサポートするネズミのティモシー。きっと似たようなことが子どもたちの周りでも起こり得る。そんな時、自分のこととして考え、どんな立場の人になりたいか考えさせたいものです。

2つ目は、「大きな耳」そのものについて。子どもたちには、一人一人に「大きな耳」をもっているということ。言い換えれば、「将来それが花開くと自分の強みになるもの」をもっているという自信をもたせたい。自分や他人がもっている特性や能力が「ちょっと違う」とダメなものとして決めつけたり、からかいの対象にしたりしてほしくないのです。「ちょっと違う大きな耳」は子どもたちの将来を明るくする素敵なことにつながっているんだということに気付かせたいのです。



伊集院北小学校では、心の教育の日を設定し道徳の授業を一斉に行う中で、自分や他人の気持ちと向き合ったり、人権教室を行って様々な人権について考えたりと人権に関する様々な取組をしています。このような取組は、人の心を大事にする思いやりの気持ちに繋がります。これからも、北小が「思いやり」の気持ちでいっぱいでありたいように願っています。



第68回運動会

爽やかに晴れ渡った秋空のもと、第68回運動会が11月4日（月）に行われました。今年は天候不良が予想され、校庭には何もない状態で当日の朝を迎えたのですが、朝7時から多くの保護者の皆様の協力をいただき、1時間遅れのスタートではありましたが無事開催することができました。

コロナ禍以来、数年ぶりの午前・午後競技実施に留まらず、熱中症対策の観点から11月開催に変更したり、全学年で親子種目を実施したりと新しい試みも多く取り入れたことにより、最後までとても盛り上がりのある素晴らしい運動会となりました。

黄組団長：東 康誠さん

僕は今年、黄組の応援団長になりました。

練習が始まったばかりの頃は、緊張しているのもあったからか、うまく話し合いを進めることができませんでした。少しずつ話し合いをまとめられるようになりました。実際の応援練習でも、最初はうまく通せなかったけれど、だんだんと形になっていきました。

そして運動会当日。応援団が特に活躍するのは、エール交換と応援合戦の二つでしたが、個人的にはいい声を出せたと思いました。結局負けてしまったけれど、応援で黄組全体を盛り上げられたのでよかったです。



保護者や地域の皆様におかれましては、朝早くからの会場準備や熱心な応援、後片付けへのご協力をいただき、感謝申し上げます。今後ともさらなるご支援・ご協力をよろしくお願いします。

11月のおすすめの本 テーマ「秋の夜長に家族で読みたい本」

- 「秋」
- 「もりのおんがく」
- 「ヴァイオリンをひくネコ」
- 「ざぼんじいさんのかきの木」
- 「あたまにかきの木」



PTA妙円寺詣り行進

10月27日(日)に、PTA主催による妙円寺詣り行進を行いました。多くの方々に参加をしていただき、徳重神社までの道のりおよそ90分間を、楽しく歩くことができました。天気にも恵まれ、気持ちのよい時間を過ごすことができました。PTA生活指導委員会の方々のご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



市音楽発表会

11月8日(金)に、市の小・中・義務教育学校音楽発表会が行われました。音楽の授業や昼休みの自主練など、猛練習を重ねた3・4年生が、合唱「ハッピーソング」と合奏「クラッピングファンタジー第7番楽しいマーチ」「ミッキーマウスマーチ」を堂々と披露しました。「どの楽曲も、曲想と音楽を形作っている様々な要素との関係をしっかり理解して表現につながれており、よい音楽の学習ができています」との講評をいただきました。

私はばんそうをしました。発びよう前はドキドキとじんちようして少し手がふるえていました。私たちがのばんになると、二回しんこきゅうをしてぶたいに立ちました。少しドキドキしたけれど、「練習してきたことをだしきろう」と思いました。終わったあとは「うまいったな」と思いました。

【3年生 今村侑笑さん】

人権について学ぶ

人権教室《11月9日(土)》

鹿児島県人権擁護委員の上荒磯公一さんを講師にお招きして、3学年に分かれて「人権教室」を行いました。「お互いのよさを認め合う」や「自他共に大切にすること」等、普段の生活で心がけたいことについて学習しました。

「人権の花」運動閉会式《11月11日(月)》

4月22日の開会式でスタートし、ひまわりを全員で育てた「人権の花」運動ですが、約半年にわたる活動に一区切りがつけました。

僕たちは、5月に各クラスで人権について学習した後に、学級園にひまわりの種をまきました。芽と草がわからなくなならないようにこまめに草取りをしたり、当番を決めて水やりをしたりして大切に育てました。ひまわりはグングン成長して、あっという間に6年生と同じくらいになりました。花は僕たちの顔と同じくらいの大きさだったのでビックリしました。

太陽に向かって元気いっぱい咲くひまわりを見て、僕たちもこのひまわりのように心身共に大きく成長し、明るく元気な学級にしようと話をしました。今、僕たちのクラスはあのひまわりに負けないくらい明るく元気です。これからも北小全体に笑顔が広がるように、最上級生として頑張ります。

【児童代表 6年生 古殿旺希さん】

ただし、人権について学ぶことに終わりはありません。12月3日には「子どもの人権プロジェクト推進校」活動の一環として、再度3学年に分かれて学習します。また、12月第2週を「校内人権週間」とし、道徳や特別活動の授業の他に、放送委員会による「ありがとう放送」を流すなど、全校一体的な取組を進めていきます。

楽しかった修学旅行

「熊本の地理・歴史を学ぶ」「友達との仲を深め、自己解決能力を養う」「生涯の思い出を作る」という3つの目的をもって、2学期初めから準備を進めてきた6年生の修学旅行。当日も、子どもたち同士で話し合い、協力し支え合いながら学習する姿が見られ、3つの目的を達成できました。

【1日目】熊本城見学 熊本市内自主研修

【2日目】グリーンランド

心配された天候にも恵まれ、充実した2日間を過ごすことができました。



まず、けがや事故なく過ごせて、無事に帰ってくることができてよかったです。

1日目の自主研修では、ほぼ計画通りに進めることができました。僕は班長として時間を気にしたり、人数確認をしたりと色々なことを気にかけました。でも、道を間違えたり博物館に行けなかったりと小さなハプニングがありました。そのたびに、みんなで力を合わせて解決しました。先生がいなくても、自分たちで考えて行動することができたので、これからの生活に役立てたいです。

2日目のグリーンランドでは、ジェットコースターやお化け屋敷など色々なアトラクションを友達と楽しみ、仲を深めました。思いつき楽しみながらも、時間を気にして行動することができました。出発のときに校長先生がおっしゃった「ぼっちにならない・作らない」もしっかりと守れました。

6年生全員にとって、思い出に残る最高の修学旅行になりました。【久富木 奏さん】

12月の行事予定

◇B校時：3・4・5・10・11・17・18・19日

◇C校時：2・6・9・13・14・16・20・23日

3日(火) 人権教室

6日(金) 《午前》そよかぜランニング大会

《午後》学校保健委員会 学級PTA

8日(日) PTAリサイクル活動

10日(火) 5年生社会科見学

14日(土) 土曜授業 地域の清掃活動 集団下校

17日(火) スクールカウンセラー来校

24日(火) 終業式・大掃除・学級活動

冬休み(～1月7日)

※予定は変更になる場合があります。週報等でご確認ください。



下校予定時刻 11:10